

事業所名

支援プログラム (児童発達)

作成日

2025年

3月

18日

法人(事業所)理念		多職種の専門性を生かして幼児期のお子様が多角的な視点を通して療育できる								
支援方針		個別支援を取り入れ、相談支援事業所と連携を図り5領域を網羅した子どもの課題に焦点を合わせ集中的に支援する。								
営業時間		9時	30分	から	18時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の把握 トイレに行くタイミングの声かけをして支援する。 手洗いの仕方を絵カードを使って提示し支援する。 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 活動の中に遊びを取り入れたり、興味があるものを中心に受け入れ体を動かす時間をとり支援をする。 体幹を整える活動を取り入れ、正しい姿勢がとれるように支援をする。 感覚を刺激する様々な感覚活動を取り入れ、感覚に対する抵抗感などを軽減する支援をする。 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 活動の中で場面に応じた絵カードなどを使って、行動の理解を深める支援をする。 絵カードで物や指示などの認識を深めて、認知出来る環境を作り支援をする。 子どもに合わせた認知出来る進捗状況を確認しながら認知する力を高めていく支援をする。 								
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 先生やお友達との関係性の中で言葉を使ったコミュニケーションを学ぶ機会を増やす支援をする。 言語力を高める活動を通して言葉でのコミュニケーションが取れるように支援をする。 コミュニケーションが取れる環境作りが出来る支援をする。 								
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 活動を通してお友達や先生との関係性の中で人間関係を学ぶ機会を作り支援をする。 SSTなどを通して社会との繋がりが持てるような支援をする。 事業所を通じて人と人の関わり方を学ぶ機会を作る支援をする。 								
家族支援		家族とのコミュニケーションの中で日々の生活の中で、子育ての悩みの軽減に繋がるように支援をする。			移行支援		家庭から地域社会への移行に対し、個々に合わせた支援をしていく。			
地域支援・地域連携		関係部署との連絡をとりながら、子どもの支援に必要な情報共有や対策について支援をする。			職員の質の向上		研修や会議の中で療育を深められるように学ぶ機会を増やし、療育をするために必要な知識を得ていく。			
主な行事等		お正月、節分、夏祭り、紅葉散策、クリスマス								